

Q3-3	
No	生徒の反応をどう感じたか
1	・地域の方とともに協力し、自分たちが大切な戦力になるのだという実感ができた。 ・日ごろから意識を高めていくことが実感できた。
2	外部の講師により、実際に災害が起きたことをイメージすることができて良かった。
3	自分のこととして考える生徒もいたが、中には切実に思えない生徒もいた。
4	素直に自分の考えを出しながら、楽しそうに意欲的に参加していた。真剣に考えている生徒がほとんどであった。
5	いざという時のために、こういった考え方や訓練を体験しておくことはとても大切であるということを確認した。
6	生き生きと意欲的に活動していて時間が足りないくらいでした。引き渡しカードに記入された内容からも、私たちが思っているより家族や健康について考えているんだなと確認できました。講和も真剣に聞いていたと思います。
7	シミュレーションゲームの回答を考えたり、グループメンバーとの意見交換を行ったりする活動を通して、日ごろあまり意識する機会が少ない防災、地域防災について主体的に考えていた。
8	ダンボールベットなど一人ひとりに体験させたい

Q3-4	
実施しての感想	
1	貴重な経験を積み重ねて、地域に貢献できる子どもたちを育てていきたいなと思いました。
2	実際にその場になる前にイメージすることができ、役立つ経験になったと思います。
3	今回のプログラムは1年生には良いと思うが、学年が上がると少し物足りないような気がした。
4	具体的な場面を想定しながら、考えさせる機会を持てて良かった。
5	時間と条件が整えば次のステップの内容にも取り組ませたいと思った。
6	生徒にも先生方にもとても良い経験になったと思います。1回きりで終わらせるのはもったいないです。今年度の文化祭では、今回の体験に関する展示や防災レシピといったものも取り入れました。毎年少しずつ他の学年にも広がっていけばいいなあとと思っています。
7	専門的な知識、理解を持った外部講師ならではの指導プロセス、教材活用は、私達教員が行う防災教育とまったく違うアプローチであり、非常に効果的だった。
8	とても関心を持って取り組めたが、150人の生徒にしっかりと体験させるためには絶対的に時間が足りていない。150人一人一人に、がやはり希望です。

Q4-3	
防災教育の課題&困りごと	
1	もっともっと充実させていきたい
2	実施したいのはやまやまですが、時間と実施内容や方法について知識がなくできない状態です。継続して取り組みたい。
3	
4	被災地から避難してきた生徒に対する配慮が必要だが、各当する生徒がだんだんわからなくなっている。
5	やはりカリキュラムの問題で、十分な指導ができていない現状があること。
6	時間を確保するのが大変。また校内で教える人が不足しているというのが現状です。新しいことをしたいと思ったら、まず教職員の研修を充実させないと、と思います。外部講師+教職員で生徒に教えることができたと思います。
7	火災、地震を想定した避難訓練(年2回実施)、交通安全教室、不審者対応訓練等とのバランスから、防災教育を現状以上に実施するのは難しい。
8	避難訓練がワンパターン化してきているので工夫していきたい。